

情報家電でつながる暮らし

パナソニック SS マーケティング(株) 宇山 葉子
jesq16@ml.jp.panasonic.com

キーワード：情報 A, 情報 B, 生活の変化, 情報家電

1. 授業のねらい

- ・情報家電についてのイメージを掴み、その利用が生活スタイルの変化に影響を与える可能性を理解する。
- ・代表的な情報家電の例を実機等で紹介しながら理解させる。
- ・情報家電の利用法などを自ら考えることにより、情報家電を支える技術を理解する。またセキュリティや個人情報保護の重要性を理解し、適切に使いこなす能力が必要であることおよび将来にわたって情報技術の活用能力を高めて行くことが必要であることを理解する。
- ・情報家電の利用には、ハードウェア単体の機能以外に、「つながる」ことから派生する「情報サービス」が存在することを理解する。また情報サービスが生活の質を向上させたり、社会の安全を支えたりすることに気づき、情報サービス産業への興味を喚起する。

2. 授業の概要

情報家電とは？情報家電が私たちの生活をどう変えてゆくだろうか。家電 40 年の歴史や未来の家庭のイメージビデオ、また携帯電話で遠隔地にある家電を制御するなどの実機デモンストラーションを見て情報家電のイメージを掴む。次に情報家電の企画を行うグループワークを通じて、情報サービスのイメージをつかみ、情報家電を支える代表的な技術を紹介しながら、全 2 コマにて情報家電と私たちの生活との関わりを考える機会を提供する。

(1) 授業開発者

授業計画作成、教材作成：パナソニック SS マーケティング(株)

授業実施：松下電器産業(株)

(2) 授業計画

1 時限目

①情報家電についての全体イメージを掴む。

家電の歴史と社会生活の変化、情報家電のある未来の暮らしのイメージ紹介、実機を使ったサービス事例紹介

②あったら便利と思われる情報家電を生徒が企画する。

自ら企画することで、サービスメリットや必要技術、運用留意点などに気づく。

2 時限目

②の作業つづき

③生徒より②の案を発表、講師コメント

④情報家電を支える技術

特に IPv6、セキュリティ技術等また企画標準化の動向などについて紹介

⑤情報サービス

情報により家電がつながることにより、「情報サービス」という付加価値が生まれる事(旧来の家電と違うところ)のイメージの紹介。

(3) 教材

提示用教材 Microsoft (R)PowerPoint (R) ファイルドキュメント、松下電器産業(株)広報ビデオ

NTTdocomoFOMAP900iV1 台、NTTdocomoMOVA P251iS (i-mode 対応) 1 台、

インターネットカメラ PanasonicBL-C30 2 台、

グループワーク用ワークシート (紙)、小テスト式ワークシート (紙)

3. 授業実践事例

3. 1 授業実施校

東京都立東大和高等学校 1 年 情報 A 41 名 実施日 2004 年 10 月 14 日

学校法人武蔵野高等学校 1 年 情報 A 25 名 実施日 2004 年 10 月 26 日

東京都立駒場高等学校 1 年 情報 B 40 名 実施日 2004 年 11 月 9 日

3. 2 授業の流れ

東京都立駒場高等学校授業を実践例として表1に示す。

表1. 授業概要

内容	授業の様子
暮らしを変えた家電の今昔 1960年代から現在まで各時代の家電の変遷(代表的な家電)と時代背景(暮らしの変化)を年表、年代別家電図版などで紹介。	提示教材に掲載された各家電について知っているかなど当てさせながら進化した。 
情報家電ってこんなイメージ 松下電器産業(株)の広報ビデオを放映しながら、未来の情報家電のイメージを掴む。	ペーパーディスプレイや携帯端末など近未来の家庭における情報家電の使われ方のイメージをビデオ教材で提示。
実際に操作してみよう 大阪門真市の松下電器技術館に設置されたネット家電のクーラーを携帯電話で操作する実演デモを実施した。またその模様をFOMAカメラにて中継した。インターネットカメラを教室内に設置し、PC教室の生徒PCより操作を行った。	携帯電話画面をウィンドキャプチャすることで携帯電話からリアルタイムで制御していることをイメージしやすい提示方法を実現。 
グループワーク グループに分かれ、それぞれあったら良いなと思わせる家電とそのサービスについて企画させ、発表。	遠隔冷蔵庫内確認、遺失物位置確認シールなどユニークなアイデアが続出。講師のコメントを交えながら進行。 
情報家電を支える技術 情報家電を支える代表的な技術である、画像圧縮、標準化、IPv6、セキュリティなどの概要を紹介する。	Microsoft(R)PowerPoint(R)教材を提示しながら進行。セキュリティの部分では実際のSPAMメールの例などを提示しながら進めた。
情報サービス 家電同士がつながる事により、そこに「情報サービス」が介在し、より便利に、新しいビジネスが生じていることを認識させる。	Microsoft(R)PowerPoint(R)教材を提示しながらまとめ。

4. 授業の成果、評価

生徒アンケートでは、93%が理解し、86%がテーマに関して興味を持ったと回答し、教員アンケートも概ね目標を達成したとの成果が得られた。生徒たちには、普段と違う講師や実機を使う授業内容に新鮮な驚きを持って楽しく学べたとの回答が非常に多く、産業界講師により実社会の現状を交えながらの授業は今後の社会参画に目を向ける入り口の機会作りとして成果があったと考えられる。

5. おわりに

今後の情報家電分野においてはテクノロジーの理解のみならず、テクノロジーを生活や社会にどう結びつけるかのビジネス企画力・構成力などのスキルもより要求されてくると思われ、将来当該分野に興味を持つ人材を増やすためのひとつの機会提供になれば幸いである。